

## 葛西会長の、被災者・世論・社員の意志を 無視した無責任な主張は撤回せよ！

申第41号で、葛西会長の主張の  
撤回を求めて申し入れを行う！

JR東海労申第41号  
2011年6月13日

東海旅客鉄道株式会社  
代表取締役社長 山田 佳臣 殿

JR東海労働組合  
中央執行委員長 淵上 利和

葛西敬之会長の無責任な主張の撤回を求める申し入れ

葛西会長は、5月24日付産経新聞において、「原子力を利用する以上、リスクを承知の上で、それを克服・制御する国民的な覚悟が必要である」「原発継続しか活路はない」「政府の責任で速やかに稼働させるべき」と原発問題に対する主張を発表した。

東日本大震災によって、福島第一原子力発電所が引き起こした大惨事は、永遠に無くならないとも言われる放射能被害を発生させた。この大惨事による被害者は単に地域周辺の住民の方たちのみならず、世界的にも波及するものとなっている。このような大惨事を受けて、菅直人首相も、原子力発電所の危険性を認めて浜岡原子力発電所の停止を指示した。そして社会的にも原子力発電を見直そうと多くの声が上がっている。

しかし、葛西会長は、このような大惨事で明らかとなった原子力発電所の危険性や世論を全く無視し、冒頭のような意見を主張している。会社を代表する者の発言は、非常に責任の重いものである。それは社員を代表する声として捉えられかねないことだからだ。

JR東海労は、このような主張を断じて認めるわけにはいかない。したがって下記の通り申し入れるので、早急に協議を行うこと。

記

1. 今回の産経新聞での葛西敬之会長の主張は、会長を名乗っての発言であり、会社を代表としての公式な発言であると考えるが見解を明らかにすること。
2. 葛西敬之会長の主張は世論の流れと逆行することであり、絶対に許すことはできない。撤回すること。
3. 撤回についてマスコミ等に明らかにすること。
4. 以上のことについて、労使の協議の場で明らかにすること。

**世論に逆行！これが葛西会長の主張だ！**

\*原子力を利用する以上、**リスクを承知の上で、それを克服・制御する国民的な覚悟が必要！**  
\*政府は稼働できる**原発を全て稼働させて、電力の安定供給を堅持する方針を！**